

- * 『出題の意図』についての質問・照会には一切回答しません。
- * 配点等については、令和8年度奈良県立医科大学学生募集要項を 参照してください。

問 1. (1) 複数の不等式から新しい不等式を構成できるか. 不等式の扱いおよび連立一次方程式を解く能力を見る. (2) 基本的な積分計算と2次関数の値について調べる能力を見る. (3) 与えられた解から方程式の係数を求められるか. 複数の例を挙げさせることで, より深い考察や発想が必要になる.

※ (1) の問題中にある「 \geq 」という記号については, 試験開始後に「 \geq 」と同じ意味である旨を板書で補足説明した.

問 2. 線分の内分や外分に関する問題. 内積の性質を中心に, 変化する点や直線を追いながら, 直線の長さや直交性についての理解度を測る. (3) では直交条件に留意しながら長さを自分なりの方法で表し, 比が整数倍になるための条件を考える.

問 3. 平面曲線に関する問題. 双曲線に対し直線の位置や傾きで交点がどのように変化するかを考察させる. 一見複雑な状況を, 場合分けにより整理する必要がある. 後半は, 集合の包含関係を数値的条件から証明する. まずは目的を正確に把握し, そのために何を仮定して何を示せばよいか, 方針を立てて実行する論理的思考力を問う.

問 4. 連続関数に関する問題. 与えられた条件から単調増加な繰り返し関数になっていることを見抜けるか. 具体的な関数に対する周期的な性質の書き下し問題. 連続性と単調性から各周期での様子を見抜けるか, さらにグラフの形と面積の関係を問うが, いくつかの状況が考えられることにも注意が必要.